

青い旅



今、子どもを取り巻く環境は！

平成22年度が始まり、子どもたちは入学（園）、進級と新たな気持ちで、新年度をスタートさせたことと思います。

出雲市子ども支援センターでは、年間1000件以上の相談を受けていますが、毎年5、6月ごろになると、不登校、登校しぶり、引きこもりなどの相談が多くなります。

内閣府の調査では、子どもたちの社会的自立の遅れが問題として取りあげられ、対応が急がれています。子どもたちの自立を遅らせる原因にはいろいろなものがあげられますが、そのひとつに、子どもたちを取り巻く環境があると思います。

子どもたちはそれぞれが素晴らしい能力を持っています。しかし、今、その能力を発揮することができず悩んでいる子どもがたくさんいます。大人の役割は、悩める子どもたちが能力を発揮できる環境をつくることではないでしょうか。親として、地域に住む大人として、何ができるかを考え、実践していきましょう。

生活リズムの乱れ

子どもにとって大切な習慣は十分な睡眠をとること。それが今、夜型の生活をするようになり、睡眠不足の子どもが多くなってきています。

- 早寝・早起きで自立起床をしましょう。（自然に目覚めて、自分で起きる）
- 心も体も勉強や活動ができる態勢にして学校に出すのは親の役割です。



メディアの上手な利用の仕方

長時間にわたってテレビを観たり、TVゲームをしている子どもが多くいます。

このことで、人との会話の機会が減少したり、静かな眠りができない子がいるようです。

- 親と子どもで、メディアを上手に利用するルールをつくりましょう。
- 時にはテレビを消し、ゲームをやめ、読書、外遊び、いろいろな体験をしましょう。

食生活

しだいに改善されてきましたが、まだ朝食抜きの子もいるようです。

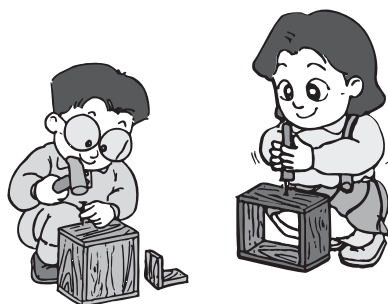
- 朝食はその日の活動のエネルギー源です。
- できるだけ家族そろって食事をしましょう。



直接体験の不足

「あれもだめ」「これもだめ」。指示ばかりで肝心な体験を奪っています。

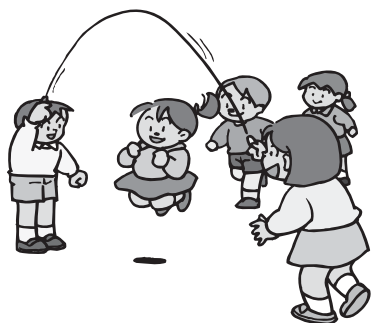
- 「できた」という体験は、自信を生み、新たな挑戦に踏み出す力を育みます。



身体活動を伴う遊びの不足

今の子どもたちの遊びは、大きく様変わりしています。数人が集まっても、漫画を読む、TVゲームをする、テレビを観るなど別々のことをしています。

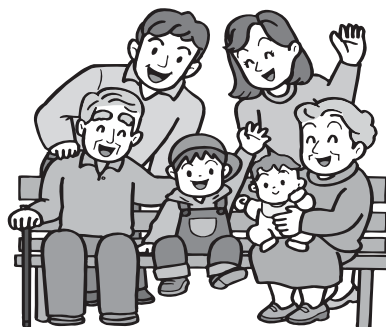
- 遊びが子どもの成長に果たす役割は計り知れないものがあります。集団で遊ぶ中で、体を思いっきり動かし、満足感、挫折、悔しさ、友達のありがたさを味わうことにより、子どもは大きく成長していきます。



家庭のあり方

子どもに対して過保護、過干渉になる大人が多くなっています。核家族化、小家族化し、家庭の中で人間関係を学ぶ機会が減少しています。

- 子どもにはなるべく手をかけず、心をかけましょう。
- 地域での交流を大切にしましょう。
- 人間としてのしっかりとした土台づくりをし、わが子を社会に送り出すことが親の責任です。



子どもや保護者の悩みや心配ごとは 出雲市子ども支援センターに相談してください

出雲市子ども支援センターは、子どもの健やかな成長を願って活動しています。さまざまな悩みや心配ごとを抱える子どもや、その保護者などからの相談に対し、親身になって対応します。また、就労体験など、必要に応じて地域のボランティアなどの協力を得ながら、子どもたちの自立支援を図っています。

このような相談に応じます

- ◎非行や問題行動について
- ◎しつけや家庭教育について
- ◎性格や行動、身体や心の問題について
- ◎不登校・登校しぶりについて
- ◎ひきこもりについて

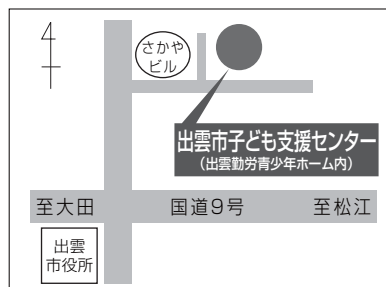
相談日時

- ◎月～金曜日 8時30分～18時まで
 - ◎土曜日……8時30分～17時まで
- (ただし、祝日・年末年始を除きます。)

相談方法

電話相談と面接相談(予約制)です。
まずは相談電話(フリーダイヤル)

ヤッホー ナヤム ナ
(0120) 84-7867 まで



●おたずね 出雲市子ども支援センター (☎ 21-4444)